

# 令和 8 年度社会福祉法人桜丘会 事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 3 1 日

- ・ 法人本部
- ・ 介護老人保健施設桜の園
- ・ 桜の園通所リハビリテーション
- ・ 特別養護老人ホーム八橋
- ・ グループホームさくら
- ・ 小規模多機能型居宅介護幸の家
- ・ 訪問看護ステーション幸
- ・ 桜の園居宅介護支援事業所
- ・ 広面地域包括支援センター桜の園
- ・ 中通地域包括支援センター幸ザ・サロン

# 令和8年度社会福祉法人 桜丘会事業計画書

## 1. 法人の運営方針

昨年団塊世代全員が後期高齢者の75歳以上となる2025年を迎え、今年度以降は高齢者人口がピークに達する2040年を見据えた経営が求められる。2040年は、団塊ジュニア世代が65歳以上となると同時に、高齢者の減少と生産年齢人口(15~64歳)も大きく減っていくが、東京や大阪のようにどちらの人口も増加するという地域も存在するため、人口減少と地域格差への対応として、全国の地域を「中山間・人口減少地域」「大都市部」「一般市等」の3つの類型に分類し、それぞれの特性に応じた対策を講じる方針が社会保障審議会介護保険部会において示された。来年度令和9年は介護保険改正の年であり、示されたことがどういう形で介護保険の改正に盛り込まれるのか、情報を早く正確に把握し、来年度に向けてそれぞれの部門においての対策を講じ、法人全体として経営の安定を図っていきたいと考える。

また、令和9年度介護報酬改定を待たずに6月と8月に期中改定を実施するのは、介護職員等の賃上げ、経営の安定、離職防止、人材確保を図る必要からといわれ、改定率は+2.03%である。介護職員は、6月から最大月19,000円の賃上げとなり、これまで処遇改善加算の対象外だった居宅介護支援事業所や訪問看護、訪問リハビリテーションに処遇改善加算を「介護職員のみ」から「介護従事者」に拡大して新設されることになった。さらに8月には、施設介護報酬の基準費用額(食費)が1日100円引き上げられることとなった。これは、近年の食材料費高騰等により給食の外注業者から毎年値上げ交渉を受け、給食委託費が年々増額となり経営を圧迫し始めてきていたので、非常に朗報であった。

今年度の運営方針は、昨年度と引き続き一昨年の介護保険改正で改定された以下の内容を実施していくこととする。

- (1) 生産性向上による働きやすい職場づくりとして、職員の業務負担の軽減や介護現場の生産性と質の向上を図るため、介護テクノロジーの導入の検討を推進。
- (2) 医療と介護の連携では、協力病院や地域の医院・診療所との更なる連携を図ることで、2040年を見据えた包括的な医療構想に寄与していく。
- (3) 介護保険上や就業規則等での職員研修の確実な実施で法令を遵守する。  
研修は、1年間で全職員が受講すべき内部研修が決められており、それぞれの事業所において、管理者が責任を持って計画実施するようしなければ介護報酬の減算となってしまうので、注意が必要である。
- (4) 人材確保のための対策の見直しを行う。

介護人材確保の一環として、外国人技能実習生の採用を2019年より行ってきて、これまで採用したベトナム国9名のうち在籍している3名の技能実習生は特定技能となり、うち2名は介護福祉士に合格をして、さらにうち2名は結婚・出産をして定着している状況である。ミャンマー国の技能実習生は現在4名在籍しており、7月には新たに2名がミャンマーより入国して桜の園へ採用となる予定である。

日本人の人材確保に関しても人材紹介会社よりも、無料又は安価な方法、或いは職員の知人友人の紹介等での募集を行い経費削減に努めていく。

法人全職員のキャリアパス制度の構築を今年度も実施していく予定で、特養八橋の業務標準作成は引き続き行う予定である。

教訓を生かしながら各事業所で作成した自然災害発生時業務継続計画は常に見直しを図り、今年度も訓練を実施していく予定である。

令和5年より地域貢献事業の一環として「シニアサポートセンター桜」の運営は、3年が経過し、中通地域包括主催で「認知症カフェ」や「認知症ケアマップの会」などを立ち上げ、活動が活発となり一定の成果が得られたことで今年度6月末での撤退を考えている。桜丘会全事業所の職員、主に管理者やケアマネ、リハビリスタッフ、相談員、管理栄養士が月に1回出向いて地域貢献活動を行ったことは得難い経験であったと思う。今後貢献活動を行なう際は、中通地域包括の建物の2階に設置しているサロンA・B・C室を使用して行うこととする。

物価高騰、人材不足等我々地域社会の取り巻く環境は厳しさ増すばかりだが、桜丘会は地域に根差し永きに発展し続ける法人であり続けるよう、役職員一丸となってサービス向上に努めたい。

## 2. 社会福祉法人桜丘会の基本理念

- 一、尊重と和 (お互いの個性を認め合い、なごやかなあたたかさを)
- 一、感謝と礼節 (「ありがとう」の気持ちを言葉と態度で)
- 一、公平と思いやり (品性のある正義と慈愛をもって)
- 一、奉仕の心 (尽くして求めず、社会に貢献していきます)

## 3. 社会福祉法人行動指針 (全国社会福祉法人経営者協議会より)

1. 経営者としての役割
2. 組織統治 (ガバナンス) の強化
3. 健全で安定的な財務基盤の確立
4. コンプライアンス (法令等遵守) の徹底
5. 人権の尊重
6. 包括的支援の充実・展開
7. サービスの質の向上
8. 安心・安全の環境整備
9. 地域共生社会の推進
10. 信頼と協力を得るための積極的なPR
11. 中長期的な人材戦略の構築
12. 人材の採用に向けた取組の強化
13. 人材の定着に向けた取組の強化
14. 人材の育成に向けた取組の強化

4. 令和8年度の法人(桜丘会)目標

「一日一膳」を実行し、地域に幸せの輪を広げよう

5. 理事会・評議員会等の開催予定

令和8年 6月未定日 令和7年度事業報告・会計決算報告等理事会

令和8年 6月未定日 令和7年度事業報告・会計決算報告評議員会

令和8年 10月未定日 定期理事会

令和9年 3月未定日 令和9年度事業計画・会計予算案等理事会

6. 監事監査の実施予定

令和8年 5月未定日 令和7年度事業・会計決算の監査

# 令和 8 年度事業計画書

介護老人保健施設 桜の園

## 1. 施設運営・処遇等方針

令和 8 年度は、多職種協同による施設全体での在宅復帰超強化型の維持やターミナルケアの取組みのため、協力医療機関との協力体制を基に医療と介護の連携を継続し進めていきたい。

また、介護 DX の推進を受け、ICT 機器の導入による生産性向上に向けた取り組みにより職員の負担軽減を図り、各種委員会の開催、研修や訓練を行い、令和 9 年度の介護報酬改定の対応と共に、サービスの質の向上に努めていきたい。

### (1) 在宅復帰支援

ご利用者・ご家族との定期的な面談を行い、リハビリの進捗状況や現状について報告を行うと共に、在宅復帰後の利用可能なサービスについても具体的な提案を行う等支援を進めていく。さらに、施設内での介護保険教室を積極的に実施し、ご家族の不安を軽減することで、在宅強化型老健として地域に貢献していきたい。

### (2) 保健衛生と感染症対策

日常的な衛生管理・感染予防に努め、ご利用者の安全・安心した生活を維持するよう努める。また、感染症発生時は業務継続計画に則り、感染拡大防止を迅速に実行し、協力医療機関との連携を基に適切な対応を行っていく。

### (3) 在宅生活に対応したリハビリテーションの提供

入所 3 月以内のご利用者に対する、月々の ADL 等の評価・計画見直し等による重点的なりハビリを行い、生活機能の回復・向上に繋げる。専門職としての視点による、在宅復帰後や次の生活の場に向けた個々の状態に適した、リハビリプログラムを提供し行っていく。

### (4) 入所率の増加

協力医療機関のニーズを的確に把握し、迅速な対応によって良好な関係の維持に努めていく。相談件数の高水準を維持するため、居宅介護支援事業所等各所から相談しやすい窓口づくりを継続し、確実な入所へ繋がるよう事前情報を基に進めていく。

### (5) 療養食の提供

ご利用者の栄養状態、嚥下状況等に合わせた特別食、一般食の提供に努める。嗜好の多様化による個々のニーズに対応しつつ、栄養状態の適切な管理・支援を行っていく。

### (6) 職員の教育・スキルアップ

全職員を対象とした虐待防止、身体拘束廃止、感染対策、安全対策等の研

修を定期的に行い、また介護職員に対するオンライン研修や関連団体による外部研修への参加を積極的に進め、外国人技能実習生を含めた高いレベルの介護技術を会得することが出来るよう、人事考課用に作成した業務標準をベースに、介護技術の基準の再確認と伝達を行っていく。

#### (7) 地域に根ざした施設

地域住民への地域貢献活動と市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と共に一体となったケアを積極的に行っていく。

また、評価・情報公開を積極的に行い、透明性と信頼性のあるケアを目指していく。

### 2. 入所者

100名（定員）

### 3. 利用日・利用時間

（入所） 24時間365日サービス提供

### 4. 職員体制・勤務体制等

#### 職員体制

（入所）	施設長（医師）	1名
	看護師	11名
	介護員	36名
	作業療法士	5名
	理学療法士	1名
	支援相談員	3名
	管理栄養士	2名
	介護支援専門員	1名

#### 勤務体制

（入所）	日勤	午前 8：30	～	午後 5：30
	夜勤	午後 5：00	～	午前 9：00
	早番	午前 6：30	～	午後 3：30
	準早番	午前 7：00	～	午後 4：00
	遅番	午前 10：00	～	午後 7：00

### 5. 年間行事

別紙のとおり

### 6. その他（建物改修、設備、備品等購入等）

解析付心電図計	1,028,500円		
浴室床張り替え工事	548,900円	特浴移設費	126,500円

令和8年度年間行事等実施計画

介護老人保健施設 桜の園

項目 月	行 事		職員研修・勉強会等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	年 間 行 事	日	月 間 行 事	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月		お花見レク		誕生会		各委員会目標提出 各委員会話し合い				
5月		ドライブツアー		誕生会  さくらカフェ		身体拘束内部研修  各委員会話し合い			BCP(感染)訓練	日赤看護実習 秋大看護実習
6月				誕生会		虐待防止内部研修 AED講習会 各委員会話し合い			職員健康診断	日赤看護実習
7月		夏祭り		誕生会		各委員会話し合い		消防訓練 BCP(災害)訓練	感染対策内部研修 施設内大清掃	秋大看護実習
8月		竿灯来園		誕生会  さくらカフェ		事故防止内部研修  各委員会話し合い			利用者健康診断	
9月		敬老会		誕生会		生産性向上内部研修 AED講習会 各委員会話し合い			BCP(感染)訓練	
10月		ドライブツアー		誕生会		接遇内部研修  各委員会話し合い		消防訓練 BCP(災害)訓練	感染症予防対策強化 および内部研修会 施設内大清掃	
11月		きりたんぽ会		誕生会  さくらカフェ		各委員会話し合い			感染対策内部研修 利用者、職員インフル エンザ予防接種	

12月	忘年会 餅つき	誕生会	身体拘束内部研修 各委員会話し合い			職員健康診断		
1月	梵天訪問	誕生会	虐待防止内部研修 各委員会話し合い					
2月	節分行事	誕生会 さくらカフェ	事故対策内部研修 各委員会話し合い					
3月	ひなまつり会	誕生会	各委員会反省 年度総括 各委員会話し合い					

# 令和8年度事業計画書

桜の園 通所リハビリテーション

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

令和9年度介護報酬改定を前に、令和8年度期中改定として「介護分野職員の処遇改善について多職種との遜色ない処遇改善」を見据えた取り組みがなされる。通所リハビリテーション（以下通所リハ）に関するところでは、ケアプランデータ連携システムの導入と実績報告である。これは6月からの運用となるため、法人事務局と連携しながら準備を進めている。

通所リハビリの地域における役割としては、地域包括ケアシステムの一端を担い、住み慣れた自宅・地域で自分らしく生活ができるよう、私たちは日々関わらせて頂いている。今年度も引き続き大規模通所利用定員に最大限近い数値を維持しながら、まごころのこもった支援を実践できるようにホスピタリティーを強化し取り組んでいく。

近年は感染症や大雨などの気象等、以前は起こりえなかった事象も多く発生するようになった。加えて昨年夏から秋にかけて秋田県では熊の出没が相次ぎ、山に近い立地である当通所リハでも熊対策を講じるなど今までにはない事態に直面した。今後も経験したことのない事態も起こりえることを想定し安全に業務遂行できるよう日々考えながら、ご利用者やご家族への支援を行っていく。

今年の法人目標に対する通所リハの目標は「職員同士の一善が、ご利用者の安心につながる職場を目指そう」と決定する。職員同士の一善とは、チーム（他者）を思いやり、声を掛け合う事、自分を振り返りつつ他者の気持ちを考える事、多くの気づきを持つこと。取り組みを通して、ご利用者・ご家族に安心してご利用していただける環境を作っていきたい。また数値目標として苦情・苦言ゼロ、年間新規利用者が50件。決して高い目標ではなく、日々の自分たちの行動や心掛けで達成できると信じて取り組んでいく。良くも悪くも一人の行動が事業所全体の評価につながりえる。ご利用者やご家族にまごころを持って支援することで、日々に活力が生まれ、住み慣れた地域・自宅で過ごせるように努めていく。

## 2. 利用者定員

定員 40名 （1日）（大規模型 通所リハビリテーション）

## 3. 営業時間

月曜日～土曜日 8：30～16：30（7時間以上8時間未満）  
（休日：毎週日曜日、年末年始の12月31日～1月3日）

## 4. 職員体制・勤務体制等

職員体制	管理者（医師/老健兼務）	1名
	看護師	1名
	管理栄養士（老健兼務）	1名
	作業療法士	3名
	理学療法士	1名
	介護員	11名
勤務体制	日勤	午前 7：45 ～ 午後 4：45

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、予定  
別紙のとおり

6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

・室内エアコン	440,000円
・平行棒（リハビリ機器）	110,000円

令和8年度年間行事等実施計画

桜の園 通所リハビリテーション

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月				外出訓練(ドライブ) お楽しみランチ		虐待防止検討委員会 スタッフ会議				感染対策委員会		
5月				お楽しみランチ		BCP(感染)研修 BCP(災害)研修						日赤看護実習(1日)
6月				外出訓練(ドライブ) お楽しみランチ		虐待防止内部研修						日赤看護実習(1日)
7月		夏祭り		お楽しみランチ						感染対策内部研修		
8月		クッキング		お楽しみランチ				防災避難訓練				
9月		敬老会		お楽しみランチ								秋田大学OT 見学実習 日赤看護実習(1日)
10月				外出訓練(ドライブ) お楽しみランチ		虐待防止内部研修				感染対策委員会 感染対策内部研修		日赤看護実習(1日)
11月				外出訓練(ドライブ) お楽しみランチ								日赤看護実習(1日)
12月		忘年会 クッキング		お楽しみランチ		スタッフ会議		BCP(災害)訓練		BCP(感染)訓練		
1月				お楽しみランチ		虐待防止内部研修						
2月		節分		お楽しみランチ						感染対策内部研修		
3月				お楽しみランチ								

※退院前カンファレンス参加、サービス担当者会議参加、居宅訪問(リハ専門職)は必要時実施。利用判定会議は新規利用予定に合わせて実施。

※年間通してリハビリテーション会議開催 業務連絡会議出席 その他必要時委員会参加

※感染対策委員会(2回/年以上) 虐待防止検討委員会(1回/年以上) 感染対策研修(1回/年) BCP(感染症・災害)研修(1回/年以上) 虐待防止研修(1回/年以上)

防災避難訓練(1回/年以上) BCP訓練(感染症・災害)訓練(1回/年) 感染対策訓練(1回/年) その他 事故対策 キャリアパス 新人研修 通所リハビリに関する研修

※年間通して感染予防対策実施(手指消毒、マスク着用) 必要に応じての検査実施

※外出訓練実施(スーパー、駅等、市内巡り)

# 令和 8 年度事業計画書

特別養護老人ホーム 八橋

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

### 法人目標

「一日一膳」を実行し、地域に幸せの輪を広げよう

### 施設目標

「入居者・家族」に寄り添い、コミュニケーションを深め  
「一日一善」を実行し、苦情ゼロを目指します。

令和 8 年度は、入居者のニーズを把握し、入居者を中心としたサービスの提供を行い、清潔で安全な環境の中で、入居者の心身状態を理解し、安らぎのある生活を送ることができるよう努めていきます。職員は、入居者一人ひとりとしっかり向き合い、より充実した個別ケアを目指します。

介護職員の必要数は、2040年には、272万人とされ、需要と供給のアンバランスが深刻な課題となっています。介護サービスの効率化、介護の生産性の向上が提唱され、デジタル化やICTの活用などを推進する各種政策が進められています。

今年度は、生産性向上推進体制加算を取得し、「より良いケア」と「職員負担の軽減」に努めます。地域に根差した取り組みとして、行政からの相談、高齢者虐待防止委員会の参加、地域の困りごと等、積極的に取り組み、各関係機関と連携を図ります。

### (1) 稼働率の向上

・ユニット型特養は、従来型特養に比べて、居室料金の負担が大きくなっています。

また、物価高騰等が要因となり、入居者獲得が非常に難しい状況となってきました。そのため、生活保護や秋田市内での困難事例ケースの緊急入所等、低所得者層のニーズを踏まえ、行政を交えて、様々な工夫を凝らし、入居者の獲得を図ります。

### (2) 離床

・できる限りベッドから離れ、リビングに集うようにします。他の入居者との会話やコミュニケーションが図れるようにすることで、楽しく生活を送れるように努めます。

・各種用意されたレクリエーションや諸行事に参加することにより、心身の能力が高まり、活気をもって生活できるように支援します。

### (3) 職員の資質向上

・危険予知・入浴・身体拘束・虐待予防・不適切なケア・褥瘡予防等研修や会議の場を通じて、様々な知識を学び、入居者の立場に立ったケアを行います。

・職員間の情報共有と、入居者がより良い生活を送れるよう、生活リズムを尊重した個別ケアを行い、入居者の変化をみのがさず、適時、アセスメント表の作成・更新を行います。

- ・職員研修、外部研修、eラーニング研修を活用し、介護保険の知識を向上します。

- ・生活リズムに添った個別ケアを行うため、居室担当制による職員の意識向上を図り、24時間シートを活用し快適な生活を送れるようにします。

- ・施設ケアマネージャー、生活相談員を中心にサービス担当者会議を継続開催し、入居者・家族と連携を維持し、最適なケアプランを策定します。

#### (4) 健康管理

- ・バイタルチェックを行い、観察することで早期発見につなげます。ケース会議等を行い状態の変化、リスク等を職員間で共有します。

- ・入浴、清拭、体位交換、食事（栄養管理）を適切に行い、褥瘡の発生予防に努めます。

#### (5) 看取りケア

- ・入居者やご家族の希望に沿った看取りができるよう、嘱託医や各部署と連携を密に取り、安らかな最期が迎えられるよう努めます。

- ・緊急対応（看取り）の場合、確実な情報共有が必要なので、マニュアルの再検討を行います。

- ・人生の終末期について、希望や考え方を本人・キーパーソンとも共有し、安心して自分らしい生活ができるように協力・支援します。

#### (6) 防災対策

- ・業務継続計画に基づき、対策等のシミュレーションを重ね、職員、入居者、家族、来訪者への周知徹底を図ります。

- ・関係機関と連携を強化し、地震・火事・水害等を想定した防災訓練・研修を行います。また、消防設備器具などの点検を定期的を実施します。

#### (7) 虐待防止の取り組みと身体拘束の適正化

- ・高齢者の尊厳の保持、人格尊重が達成されるよう、虐待の未然防止に取り組み、虐待に関する研修を行います。

- ・身体拘束委員会を毎月開催し、身体拘束の適正化に向けた取り組みを行います。やむを得ず、身体拘束を行った場合の会議・報告を職員全員で共有します

#### (8) 事故防止

- ・転倒事故に対し、気づきを重視し、早期の段階で対策することで、安全に配慮した生活の支援を行います。

- ・事故のリスク軽減を図り、24時間シートを作成し、入居者にとって安全、安心な環境の提供を行います。

- ・事故やヒアリハットの報告を行い、事故の分析を行うことにより、情報を共有し、事故の対策を行います。

#### (9) セーフティネットとしての役割

- ・秋田市内（地域）での緊急時の受け入れを実施します。ニーズの変化を敏感に察知し、求められる役割に応じて柔軟に対応します。

## 2. 入所者定員

入 所	60名
-----	-----

## 3. 利用日・利用時間

利 用 日	3 6 5 日
利 用 時 間	2 4 時 間

4. 職員体制・勤務体制等

(職員体制)

看護師・生活相談員・作業療法士・介護職員・管理栄養士などのスタッフが、サービスを提供いたします。また、10人単位のユニットケアを取り入れ、顔なじみの職員と「その人らしさ」をいかして暮らせる施設です。

(勤務体制)

介護職 早番7:00~16:00 遅番13:00~22:00 夜勤22:00~7:00  
看護職 早番7:30~16:30 日勤8:30~17:30 遅番10:00~19:00

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定  
別紙のとおり。

6. その他(建物改修、設備・備品等購入等)

高圧気中開閉器交換工事 1,508,100円

令和 8 年度年間行事等実施計画

特別養護老人ホーム 八橋

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月		お花見		誕生会	月1	職員会議（第3週） チーフ会議 施設内勉強会（第3水）	中旬	防災訓練・BCP自然災害 訓練・消防設備点検				事故対策・排泄・感染予防・ 教育・給食・行事・身体拘束・ レクリエーション委員会
5月		母の日 散歩等		〃		〃						〃
6月		買い物 合同喫茶等		誕生会、父の日 中庭での園芸		〃		BCPコロナ訓練		利用者 健康診断 (採血)		〃
7月		七夕 夏祭り		誕生会		〃		口腔ケア研修				〃
8月		地域交流八橋夏まつり		〃		〃						〃
9月		敬老会 合同喫茶 地域交流コスモスまつり		〃		〃				インフルエンザ 予防注射 接種者確認 結核検診 コロナワクチン接種		〃
10月		コスモスロードツアー 紅葉ドライブ		誕生会 買い物レク		〃		防災訓練（夜間） BCP自然災害訓練 消防設備点検		感染症予防対策強化		〃
11月		食事楽しみ会 合同喫茶 寿司会 紅葉ドライブ（第1週）		誕生会 年賀状の作成		〃				インフルエンザ 予防注射 隔離室準備（感染症対策）		〃
12月		年忘れ会（全体） クリスマス きりたんぼ鍋づくり		誕生会 正月の飾りつけ		〃		BCPコロナ訓練		インフルエンザ 予防注射		〃
1月		新年祝賀会		誕生会 書初め		〃		口腔ケア研修				〃

2月	節分（全体）	誕生会	〃					〃
3月	ひなまつり（全体）	〃	〃				コロナワクチン接種	〃

# 令和8年度事業計画書

グループホーム さくら

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

令和8年度の運営・処遇方針として、法人目標である『「一日一善」を実行し、地域に幸せの輪を広げよう』については、各自が法人の顔であるという意識を持ち、事業所内外それぞれにおいて一日一善を遂行していく。

また、“誰かのために”と考えることが習慣づくことにより、ご利用者・ご家族視点の強化に繋がると考えられ、一層の信頼関係の構築を目指す。

事業所目標である『感謝の気持ちを言葉にし、笑顔・喜び・安心に満ちた暮らしを共創していく』については、意識的に誰かの親切に目を向け、言葉で感謝の気持ちを届けることで関係性の向上を図る。感謝の言葉が飛び交うことで雰囲気良くなり、それぞれの幸福度やモチベーションが上がり、ご利用者様・スタッフ全てにとって最も居心地の良い環境になることを目標とする。

『ご利用者皆様に月1回以上の外出支援と、年4回以上の地域交流の支援を目指す』については、通院介助が大半の時間を占めており個別外出が難しい現状ではあるが、通院の道中も含め外を楽しめるように時間の組み方など工夫していく。また、前年度は町内イベントなど参加することが出来なかったため、今年度は情報を広く集め、地域交流の機会を確保していく。

## 2. 入所者定員

定員 18名 (A棟 9名 ・ B棟 9名)

## 3. 利用日・利用時間

24時間 365日

## 4. 職員体制・勤務体制等

職員体制	管理者（介護員兼務）	1名
	A棟計画作成担当者 （介護支援専門員、介護員兼務）	1名
	A棟・B棟計画作成担当者 （計画作成担当専任・非常勤）	1名
	職員A棟（管理者含む）	9名
	職員B棟	7名
	職員合計	16名

※医療連携看護師3名（桜の園兼務）

勤務体制 早番 7:00～16:00

日勤	8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0
遅番	1 1 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0
夜勤	1 7 : 0 0 ~ 翌 9 : 0 0

※ ご利用者3名につき1名以上の職員配置。日中1ユニット9名の利用者に対し、各ユニット3名以上の日勤職員配置。

夜間は1ユニット9名の利用者に対し、各棟1名ずつの夜勤職員配置。

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定  
別紙のとおり

6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）  
外灯修繕工事 192,500円  
西面外壁塗替え工事 275,000円

令和8年度年間行事等実施計画

グループホームさくら

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他				
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容			
4月		桜花見ドライブ (随時)		櫻谷様・館岡様誕生会 吉岡様誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス		消防設備定期点検 防災・避難訓練 BCP訓練 (感染)		虐待・身体拘束適正化 委員会 感染対策委員会 医療連携 (桜の園NS)		ケアプラン確認 運営推進会議 (チーフカンファ) 外部評価申請	
5月		母の日 ツツジ観ドライブ				A・Bカンファレンス						医療連携 (桜の園NS)	ケアパートナーズ 研修会
6月		(父の日)				A・Bカンファレンス チーフカンファレンス		防災・避難訓練 BCP訓練 (災害)		職員健康診断 医療連携 (桜の園 NS)		運営推進会議 ボランティア交流	
7月		七夕 さくら夏祭り		阿部様誕生会		A・Bカンファレンス				虐待・身体拘束適正化 委員会		ケアパートナーズ 研修会	
8月		竿燈観覧 スイカ割り大会		佐々木 (登) 様誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス				医療連携 (桜の園NS) 感染対策委員会		運営推進会議 (チーフカンファ)	
9月		敬老会		田村様、小貫山様誕生会 大滝様誕生会		A・Bカンファレンス				医療連携 (桜の園NS)		ケアパートナーズ 研修会	
10月		十五夜 なべっこ会 ケアパートナーズ 作品展		鈴木 (イ) 様誕生会 進藤様誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス		消防設備定期点検 防災・総合訓練		虐待・身体拘束適正化 委員会 感染対策委員会 医療連携 (桜の園NS)		ケアプラン確認 ボランティア交流 運営推進会議 (チーフカンファ)	
11月		さくら運動会				A・Bカンファレンス		BCP訓練 (感染)		インフルエンザ予防接種 コロナワクチン予防接種 (希望者) 医療連携 (桜の園NS)		ケアパートナーズ 研修会・懇親会 外部評価	
12月		クリスマス会&忘年会 もちつき		宮越様誕生会 松野様誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス				職員健康診断 医療連携 (桜の園NS)		運営推進会議 (チーフカンファ)	
1月		お正月 初詣		藤田様誕生会 鈴木 (ノ) 様誕生会		A・Bカンファレンス		防災・避難訓練		虐待・身体拘束適正化 委員会 感染対策委員会 医療連携 (桜の園NS)		ケアパートナーズ 研修会	
2月		節分 バレンタイン		菊地様誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス		BCP訓練 (災害)				医療連携 (桜の園NS)	運営推進会議 (チーフカンファ)
3月		ひな祭り		小倉様・佐々木様誕生会 京極様誕生会		A・Bカンファレンス				医療連携 (桜の園NS)			

# 令和8年度事業計画書

小規模多機能型居宅介護 幸の家

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

今年度は「人とのつながりのため 地域とのつながりのため 思いやりを積み重ね育んでいく。」を事業所目標に掲げ、稼働率95%の達成を目指していきます。

人とのつながりによってお互いに安心感を抱き、認め合うことで自己肯定感を育て、心の健康を支えることに繋がると考えます。

また、第三者との関わりによって新しい価値観に触れることができ、その積み重ねが自分の教養を深めるものと思われまます。

自分の思いだけでは相手に届かず独りよがりになりがちなので、相手に寄り添い、相手の立場に重ね、「想い」として届けることで、心が通い合い、共感や信頼が生まれるのだと思われまます。

「思い」から「想い」に変え、事業所として思いやりを持った行動、一つ一つを大切にしていきたいと思っております。

前年度は徐々に稼働率を上げることができましたが目標には届かず、今年度こそ稼働率95%を実現するために、紹介先を開拓し、営業の強化を図って参ります。

## 2. 利用者定員

登録者	29名
通い定員（一日）	18名
宿泊定員（一日）	8名

## 3. 利用日・利用時間

利用日	365日
利用時間	24時間

## 4. 職員体制・勤務体制等

管理者兼介護員	1名
介護支援専門員兼介護員	1名
副管理者兼正看護師	1名
主任兼介護員	1名
介護員	9名
介護員兼調理員	2名

※早番勤務1名 遅番勤務1名 夜勤1名 自宅待機職員1名 その他日勤者

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定  
別紙のとおり
  
6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）  
特になし

## 令和8年度年間行事等実施計画

小規模多機能型居宅介護 幸の家

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他		
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
4月		誕生会 お花見(桜)				スタッフ会議 勉強会					BCP(感染委員会)
5月		誕生会 つつじ見				スタッフ会議 勉強会		避難訓練 BCP(自然災害訓練)			運営推進会議
6月		誕生会				スタッフ会議 勉強会			職員健康診断		身体拘束・虐待委員会
7月		誕生会 七夕祭り				スタッフ会議 勉強会					運営推進会議
8月		誕生会 夏祭り				スタッフ会議 勉強会					
9月		誕生会 敬老会				スタッフ会議 勉強会					運営推進会議 身体拘束・虐待委員会
10月		誕生会 なべっこ				スタッフ会議 勉強会		避難訓練			BCP(感染委員会)
11月		誕生会 紅葉狩り				スタッフ会議 勉強会			インフルエンザ 予防接種		運営推進会議
12月		誕生会 クリスマス・忘年会				スタッフ会議 勉強会			職員健康診断		身体拘束・虐待委員会
1月		誕生会 初詣、新年会				スタッフ会議 勉強会					運営推進会議
2月		誕生会 節分				スタッフ会議 勉強会					
3月		誕生会 ひな祭り				スタッフ会議 勉強会					運営推進会議 身体拘束・虐待委員会

# 令和8年度事業計画書

訪問看護ステーション 幸

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

事業所目標：適切な看護と多職種連携により在宅療養の  
継続と信頼関係の維持を図る

➤ご利用者が安心して在宅療養を続けるためには、適切な看護と多職種連携は  
欠かせないものであり、日々の丁寧な関わりが信頼につながり選ばれる事業  
所になることでご利用者も在宅療養継続ができると思う。

### 【目標を実行するための具体策】

- ① 新規利用依頼時に訪問枠が無い時でも引き続き受け入れできるように調整し、真摯  
に対応する事で居宅や各医療機関の連携室との信頼関係を構築していく。
- ② 連休中も勤務調整しながらできる限り訪問対応する。
- ③ 事業継続できるように気を緩めることなく感染対策に取り組み、業務が滞らな  
いようにする。
- ④ 職員が研修を受けることで自己研鑽に励む事ができ、都度ミーティングを行い  
情報共有することで各職員が目標を意識し質の高い看護を提供する事ができる。

## 2. 利用者定員 3月3日現在

登録者	現在	88名
内訳	看護	68名
	リハビリ	20名

## 3. 利用日・利用時間

利用日	月曜日～金曜日	（祝日、12月29日から1月3日を除く）
利用時間	8：30～17：30	
	24時間対応体制	

## 4. 職員体制・勤務体制等

管理者兼看護師	1名
看護師	5名（うち育休1名、パート1名）
作業療法士	2名（うち副管理者1名）
理学療法士	1名

## 5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定

【外部研修】 新人向け： 訪問看護基礎講座、訪問看護e-ラーニング  
加算要件： 精神障害者の在宅看護セミナー  
その他： 神経難病、退院調整、管理者セミナー、看取りなど

※外部研修は新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて参加

※一部別紙のとおり

ST内勉強会 認知症、看取り、救命救急、感染対策などを予定  
BCPに沿って訓練をおこなう

6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

【書籍】

訪問看護業務の手引き、訪問看護関連報酬・請求ガイド、訪問看護と介護

## 令和 8 年度年間行事等実施計画

訪問看護ステーション 幸

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月						スタッフ会議 ST内勉強会						
5月						スタッフ会議						
6月						スタッフ会議 ST内勉強会						
7月						スタッフ会議						
8月						スタッフ会議 ST内勉強会						
9月						スタッフ会議 ST内勉強会		防災訓練				
10月		看護学生実習（日赤）				スタッフ会議 ST内勉強会						
11月		看護学生実習（日赤）				スタッフ会議				インフルエンザ 予防接種		
12月						スタッフ会議 ST内勉強会				職員健康診断		
1月						スタッフ会議						
2月						スタッフ会議 ST内勉強会						
3月						スタッフ会議 ST内勉強会		防災訓練				

# 令和 8 年度事業計画書

桜の園 居宅介護支援事業所

## 1. 運営・支援等方針

当事業所では、ご利用者が可能な限り在宅生活を営むことが出来るよう適切な居宅サービスの提供を確保するため、サービス事業者・関係機関との連絡調整を行ってまいります。

当居宅の令和 8 年度の事業所目標は、「善意ある行動を心がけ、人と地域にとって思いやりがあり相談しやすい居宅介護支援事業所をめざす」です。副題として

- ① 計画的で効率的に業務に取り組む
- ② 丁寧な対応で雰囲気大切に
- ③ 新規受け入れ年間 100 件をめざす

計画的に勉強会と研修参加を行い、介護支援専門員としての知識の向上を図ります。効率的な業務ができる準備を遂行し、精神的な余裕が持てる丁寧な対応ができる雰囲気の良い居宅介護支援事業所を目指します。

## 2. 営業時間

月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分

休業日 12 月 29 日～1 月 3 日

\* 携帯電話対応により 24 時間 365 日連絡が可能

## 3. 職員体制

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1 名（常勤）

主任介護支援専門員 2 名（常勤）

介護支援専門員 4 名（常勤 3 名、非常勤 1 名）

## 4. 勉強会、研修会予定

- ・ 居宅内勉強会（週 1 回）計 48 回
  - \* 社会資源、諸制度、困難事例、新規利用者の報告などを行う。
- ・ 居宅内および法人内研修と訓練（各 1 回以上ずつ）
  - \* 高齢者虐待防止の研修や勉強会を年 1 回以上行う。
  - \* BCP（感染症・災害）について年 1 回ずつ勉強会と訓練を行う。
  - \* 身体拘束防止に対し周知できるよう報告や勉強会を行う。
- ・ 東圏地域包括支援センター主催の研修会（年 2 回）
- ・ 他法人居宅との合同勉強会（年 2 回/6 月・17 月）
  - \* ケアマネジメントの質の向上を図る。
- ・ 外部研修（年数回）
  - \* 法定内と法定外研修を含む。

# 令和8年度事業計画書

広面地域包括支援センター桜の園

## 1. 事業計画

月	地域包括支援	高齢者生活支援体制整備事業	認知症地域支援事業	その他
4月	・ケアマネサロン ・えんじョイ企画(ブルーメッセ) ・広報誌発行	・協議体会議「花筏会」 ・野菜作り同好会		・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
5月	・ケアマネサロン ・出前包括(まるだい・保健師) ・保健師フレイル予防教室(5~7月) ・けあカフェ ・BCP研修	・野菜作り同好会 ・近場を探ろう	・けあカフェ	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
6月	・ケアマネサロン ・えんじョイ企画(九十のつどい) ・出前包括(いとく・社会福祉士)	・協議体会議「花筏会」 ・野菜作り同好会	・サポーター交流会	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
7月	・ケアマネサロン ・広報誌発行 ・けあカフェ ・地域ケア会議(地域課題)	・野菜作り同好会 ・近場を探ろう	・けあカフェ	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ ・秋大実習(上旬) ・医師会実習(下旬)
8月	・ケアマネサロン ・民生児童委員協議会定例会参加(中通地区) ・地域ケアネットワーク会議 ・広報誌発行 ・感染症蔓延防止対策委員会	・野菜作り同好会		・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
9月	・ケアマネサロン ・保健師フレイル予防教室(9~11月) ・BCP訓練 ・出前包括(ビフレ) ・けあカフェ	・協議体会議「花筏会」 ・野菜作り同好会 ・近場を探ろう ・横森市営住宅サロン	・けあカフェ ・サポーター交流会 ・市民向け認サポ	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
10月	・ケアマネサロン ・えんじョイ企画(なべ) ・出前包括(イオン・社会福祉士) ・いーばる祭り	・野菜作り同好会、収穫祭	・パネル展示 ・認サポステップアップ講座	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ ・日赤実習(10~11月)
11月	・ケアマネサロン ・広報誌発行 ・東圏域合同ケアマネ研修会 ・けあカフェ ・虐待防止対策委員会	・協議体会議「花筏会」 ・近場を探ろう	・けあカフェ	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
12月	・ケアマネサロン ・虐待防止対策委員会研修		・サポーター交流会	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ ・秋大実習
1月	・ケアマネサロン ・けあカフェ		・けあカフェ	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
2月	・ケアマネサロン ・地域ケアネットワーク会議 ・感染症蔓延防止対策委員会			・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
3月	・ケアマネサロン ・BCP訓練 ・出前包括(さくら温泉) ・けあカフェ	・協議体会議「花筏会」	・けあカフェ ・サポーター交流会	・ちょこっとゆるり ・はっぴいクラブ ・東部はつらつ
通年事業 認知症診断後保健師訪問サポート事業		年間通いの場 ・ほほえみの会(手芸) ・男の秘密基地 ・うきうきクラブ ・あれそれクラブ ・大平台お茶っこサロン ・桜台クラブ ・桜お茶っこサロン ・よってこサロン ・ストレッチングクラブ ・フレンド ・スクラム ・なかよしサロン		

2. 利用日・利用時間

利用日 月曜日～金曜日（祝日、12月29日から1月3日を除く）  
利用時間 8:30～17:30  
24時間対応体制

3. 職員体制

管理者兼主任介護支援専門員 1名  
保健師 3名  
社会福祉士 3名（内1名 生活支援コーディネーターと兼務）  
（内1名 認知症地域支援推進員と兼務）

4. 職員研修

内部研修 4件  
外部研修 10件

# 令和8年度事業計画書

中通地域包括支援センター幸ザ・サロン

## 1. 事業計画

月	包括的支援事業	高齢者生活体制整備事業
4月	秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会総会・研修会 移動包括(七十七銀行・ ) 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 健康講話会 認知症カフェ桜サロン	中通・築山おでかけサポート  地区組織・地区自治組織訪問
5月	オレンジリングくらぶ定例会 探してネットワーク定例会 認知症カフェ桜サロン 認知症サポーター養成講座(令和高校) ケアマネサロン 広報誌発行	広報誌発行 中通・築山かがやき協議会 生活支援インフォーマル一覧作成
6月	移動包括(七十七銀行・ ) 高齢者運転シミュレーション講座 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 認知症カフェ桜サロン	地区組織・地区自治組織訪問 集合住宅交流会(中通)
7月	中通包括圏域居宅・サービス事業所合同研修会 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) ケアマネサロン 認知症カフェ桜サロン オレンジリングくらぶ定例会	地区組織・地区自治組織訪問 集合住宅交流会(南通)
8月	中通民児協定例会 情報交換会 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 第1回地域ケアネットワーク会議 広報誌発行 移動包括(七十七銀行・ ) 認知症カフェ桜サロン	地区組織・地区自治組織訪問 広報誌発行 中通・築山かがやき協議会
9月	中央圏域包括・居宅合同研修会 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 地域ケア会議(個別課題) 健康講話会 認知症カフェ桜サロン 認知症本人ミーティング 認知症の正しい知識の普及啓発活動(パネル展示) アルツハイマーデーイベント 地域住民の力作作品展 BCP定期見直し	地区組織・地区自治組織訪問 集合住宅交流会(中通)
10月	築山民児協定例会情報交換会 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) ケアマネサロン 移動包括(七十七銀行・ ) 地域ケア会議(地域課題) 認知症カフェ桜サロン 高齢者のための暮らしの安心研修会 市民向け認知症サポーター養成講座 探してネットワーク合同声掛け模擬訓練	地区組織・地区自治組織訪問 集合住宅交流会(南通)

11月	秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会研修会 中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 中央圏域保健師看護師連絡会研修会 第2回地域ケアネットワーク会議 広報誌発行 認知症カフェ桜サロン オレンジリングくらぶ定例会 市民向け認知症サポーターステップアップ講座	中通・築山おでかけサポート 広報誌発行 中通・築山かがやき協議会 地区組織・地区自治組織訪問
12月	移動包括(七十七銀行・ ) 認知症カフェ桜サロン ケアマネサロン	
1月	中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 健康講話会 認知症カフェ桜サロン オレンジリングくらぶ定例会	
2月	中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) 地域ケア会議(地域課題) 移動包括(七十七銀行・ ) 認知症カフェ桜サロン	地区組織・地区自治組織訪問 中通・築山かがやき協議会
3月	中央圏域保健師看護師連絡会(八川中泉の会) ケアマネサロン 認知症カフェ桜サロン オレンジリングくらぶ定例会 オレンジリングくらぶ主催市民向けイベント BCP定期見直し	地区組織・地区自治組織訪問 支えあうまちづくり研修会

## 2. 利用日・利用時間

利用日 月曜日～金曜日 (祝日、12月29日から1月3日を除く)  
利用時間 8:30～17:30 24時間対応体制

## 3. 職員体制

管理者兼保健師	1名
保健師	3名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	2名
社会福祉士兼認知症地域支援推進員	1名
生活支援コーディネーター	1名

## 4. 職員研修

内部研修	2件
外部研修	30件(5件/1名 程度)

## 5. 各職種情報交換会

- ・主任介護支援専門員 年2回
- ・社会福祉士 年2回
- ・保健師 年2回
- ・認知症地域支援推進員 年5回
- ・生活支援コーディネーター 年3回
- ・管理者 年5回

6. サロンを会場とした自主グループ活動

- ・サムライ倶楽部 月2回
- ・くつろぎカフェ 月2回
- ・あおぞら会 月2回
- ・ミモザ健康教室 月2回
- ・はつら2くらぶ 月2回
- ・3B体操 月曜日
- ・ケアマフの「カミツレ」 月2回

7. 地域を会場とした活動

- ・すみれ会
- ・65歳からのライフサポートセミナー(秋田キャッスルホテル共催) 年4回

8. 地域密着型サービス事業所運営推進会議

- ・小規模多機能型居宅介護幸の家
- ・楢山小規模多機能型居宅介護事業所
- ・グループホームかんとう
- ・地域密着型特別養護老人ホーム中通アネックス
- ・有料老人ホームわかば
- ・ナーシングホーム城南
- ・デイサービスわかば
- ・リハプライド中通
- ・デイサービスめぐり

9. 実習生受け入れ

- ・赤十字秋田看護大学
- ・秋田大学医学部保健学科
- ・秋田大学医学部保健師コース